

## 目次

### ■ 下諏訪町グランドデザイン

- 1. 背景・目的 ----- p. 1
- 2. 策定のプロセス ----- p. 1
- 3. 実現に向けて ----- p. 2

### ■ 社地区

- I. 基本理念 ----- p. 3
- II. 俯瞰図 ----- p. 5
- III. 要所図 ----- p. 7

# 背景・目的

## ● 背景

下諏訪町は、古くから諏訪大社の門前町として、江戸時代においては中山道と甲州道中の交わる温泉宿場町として栄え、近代においては製糸業や精密機械工業により発展してきました。

しかしながら近年、特に地方都市で急速に進む人口減少や高齢化により、地域の経済や社会に及ぼす影響への懸念が強まっています。そのため、地域経済の活性化や、地域社会に暮らす人々が誇りと満足感を抱ける持続可能なまちづくりの推進が喫緊の課題で、当町においてもこの課題解決に向けたまちづくりを図る取組が必須となっています。

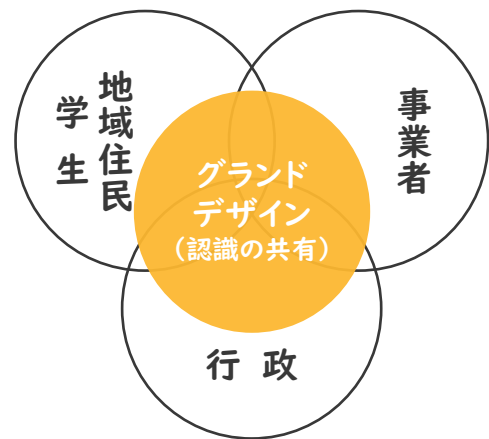
また併せて最近では、移住者による出店、赤砂崎公園・諏訪湖周のサイクリングロードの整備、国道20号バイパス事業等が進められており、当町におけるまちづくりに新たな風が吹いています。

こうしたさまざまな動きがある中で、地域住民・事業者・学生等、ここに暮らすすべての「ひと」と行政がまちづくりに対する認識を共有してまちづくりを進めていく必要があります。

## ● 目的

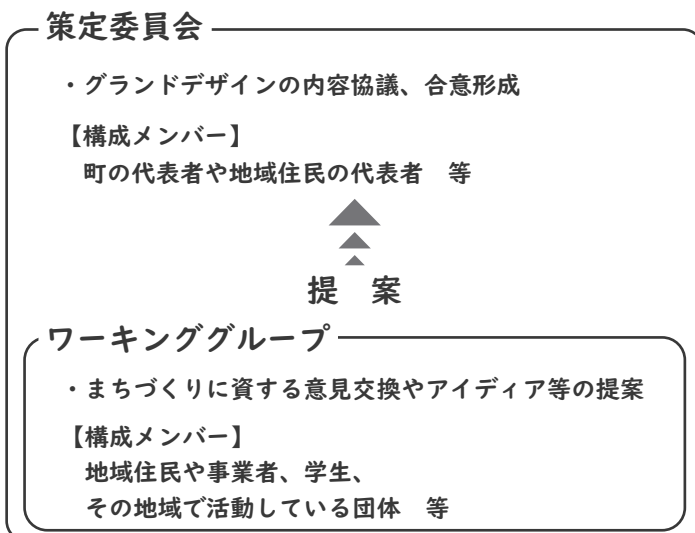
「下諏訪町グランドデザイン」は、みんなが誇りと満足感を抱ける「住みたいまち、元気な声がひびくまち」の実現に向けて、10年、20年後の将来像を共有するために、地域住民・事業者・学生等幅広い立場の方からの意見を集約し、策定するものです。

策定後は、地域住民・事業者・学生等ここに暮らすひとと行政が一体となって、将来像の実現に向けたまちづくりを進めていくことを目的としています。



# 2 策定のプロセス

## ● 策定体制



事務局：建設水道課都市整備係

## ◀◀ 支援

- ・まちづくりアドバイス
- ・運営
- ・基礎調査 等

UDC信州

長野大学

## ● 策定の流れ

### ● 基本理念の策定

### ● 俯瞰図の策定

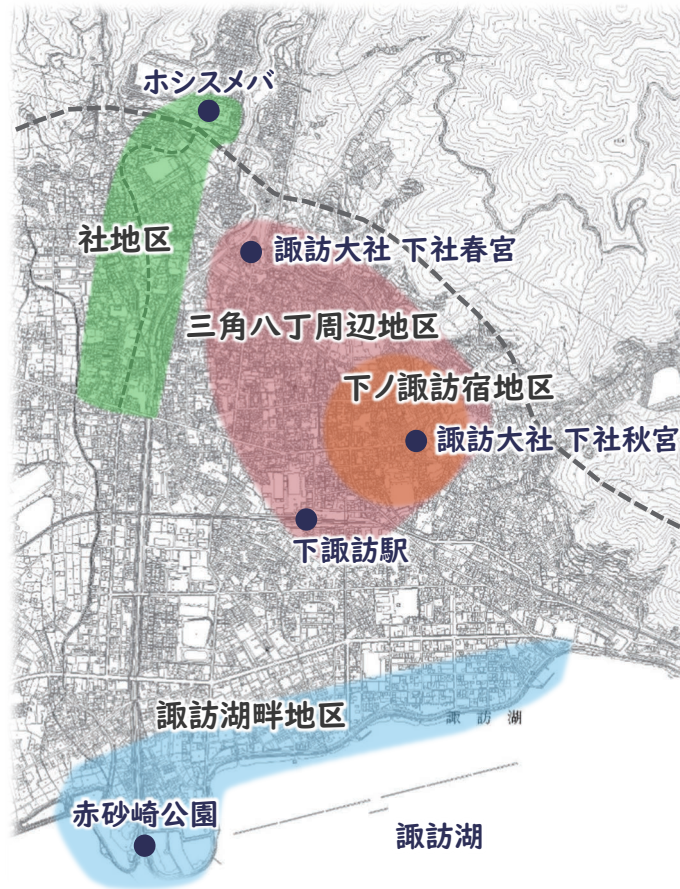
- ・基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像

### ● 要所図の策定

- ・基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針

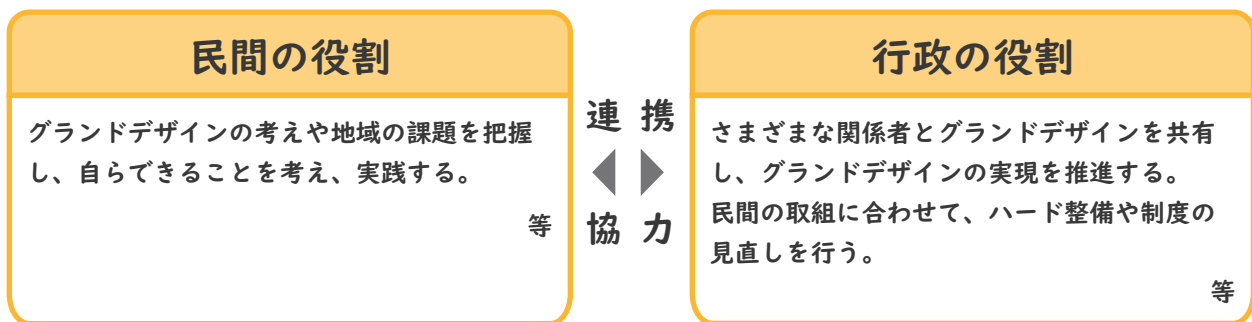
### ● 地区グランドデザインの策定

● 策定地区



# 3 実現に向けて

● 実現に向けた体制



# I 基本理念

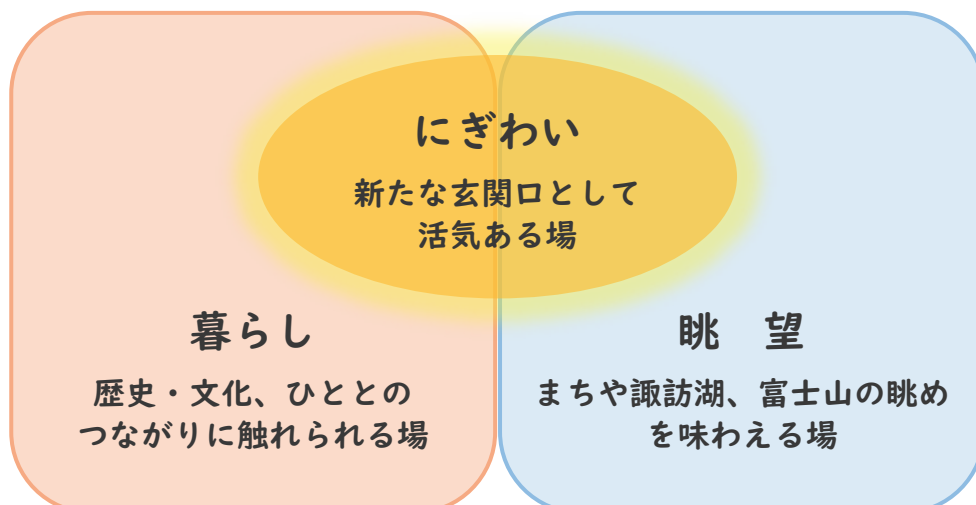
## ● 対象エリア



## ● 基本理念

社地区は、「住みたいまち・元気な声がひびくまち」の実現に向け、地域の歴史文化・あたたかみに触れられ、まちや自然の眺めを活かしつつ、新たなにぎわいある暮らしの場の創出を目指します。

## ● まちづくりに向けたテーマ



# II 俯瞰図

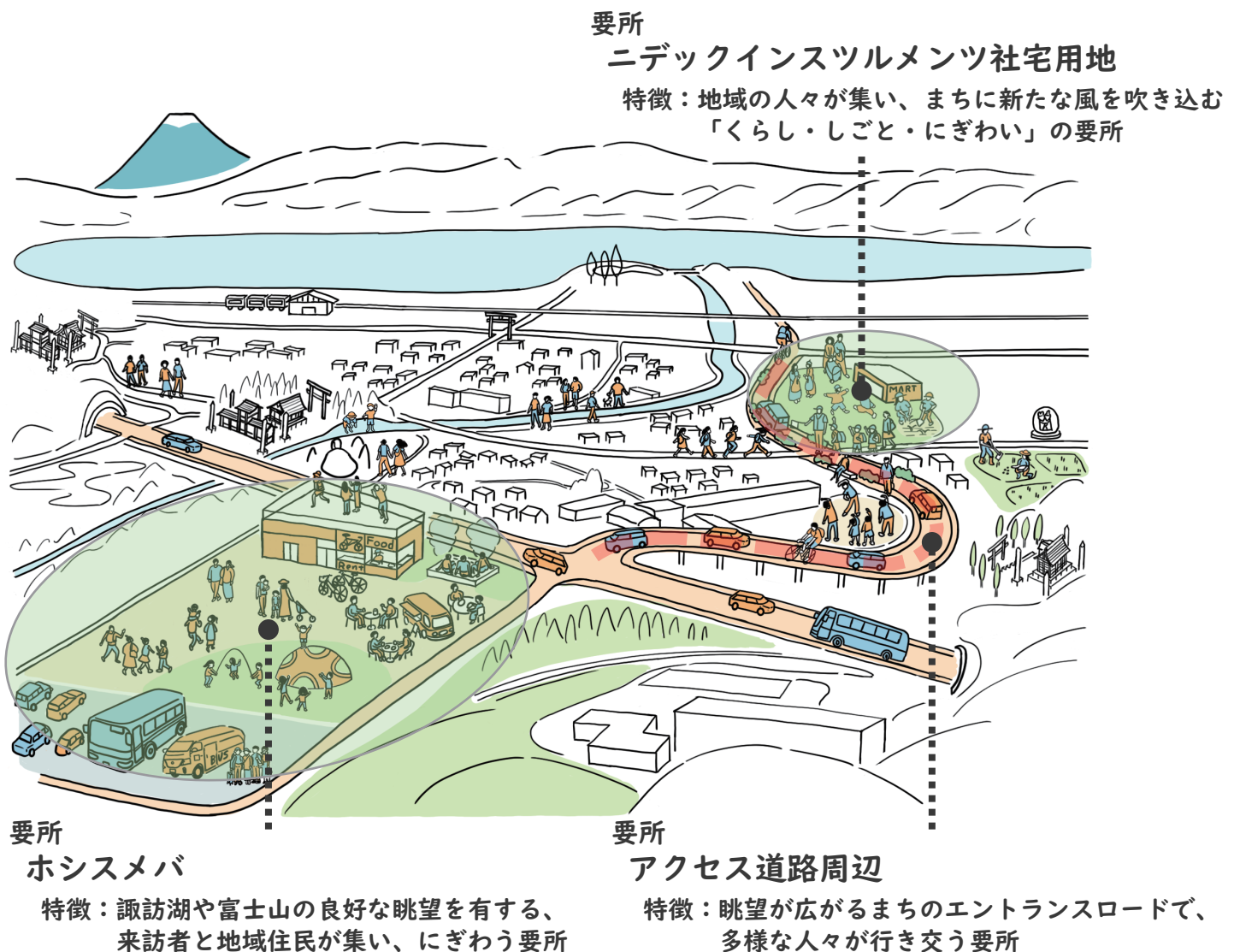
基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像です。

【5～6ページ参照】

# III 要所図

基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、  
官民で連携して取り組める方針を示すものです。

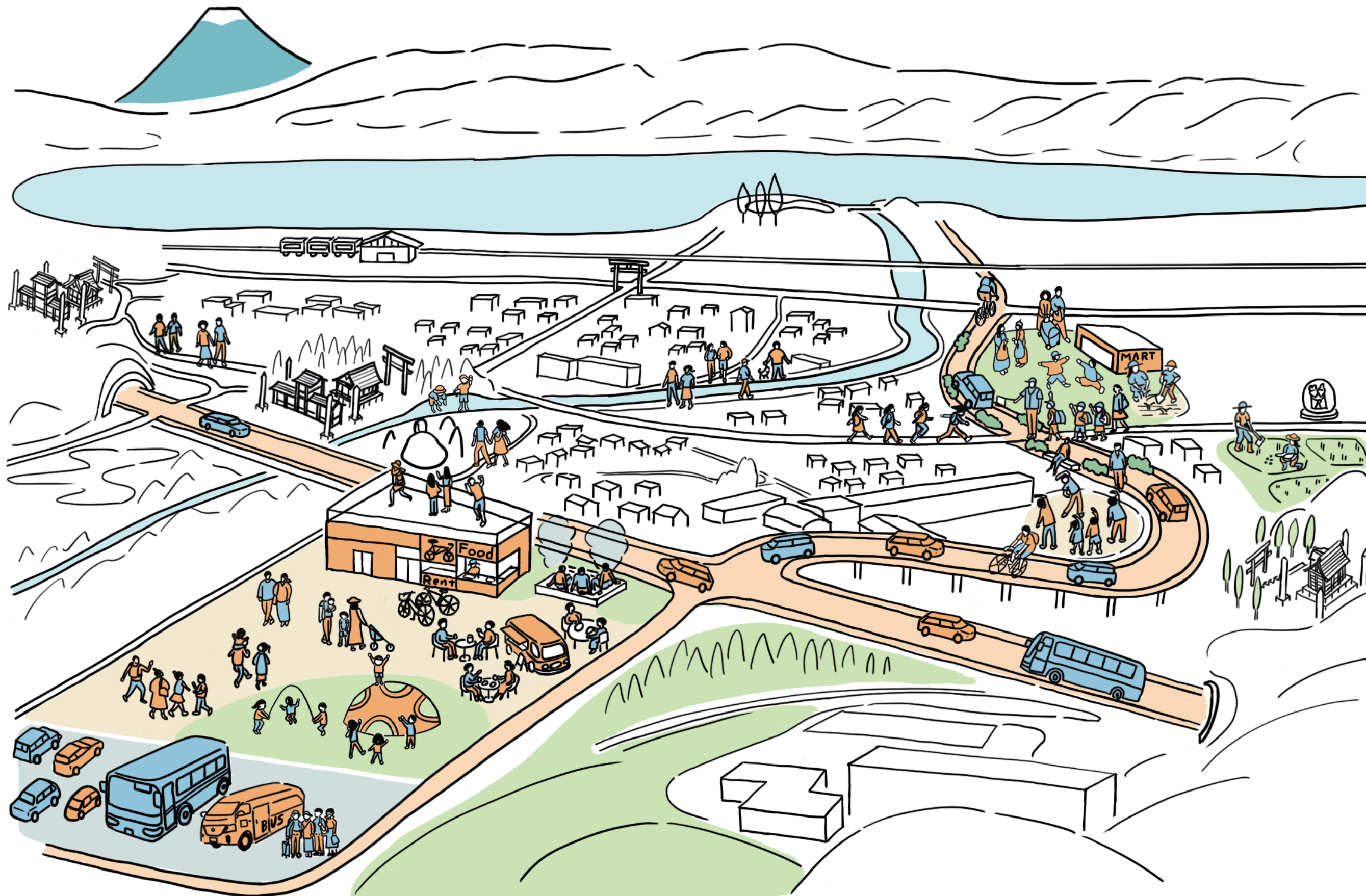
【7～9ページ参照】



※基本理念のもとイメージしたものであり、家屋等の位置、形等は正確ではありません。

俯瞰図

基本理念を実現するために地区全体を俯瞰的に描いた将来像です。

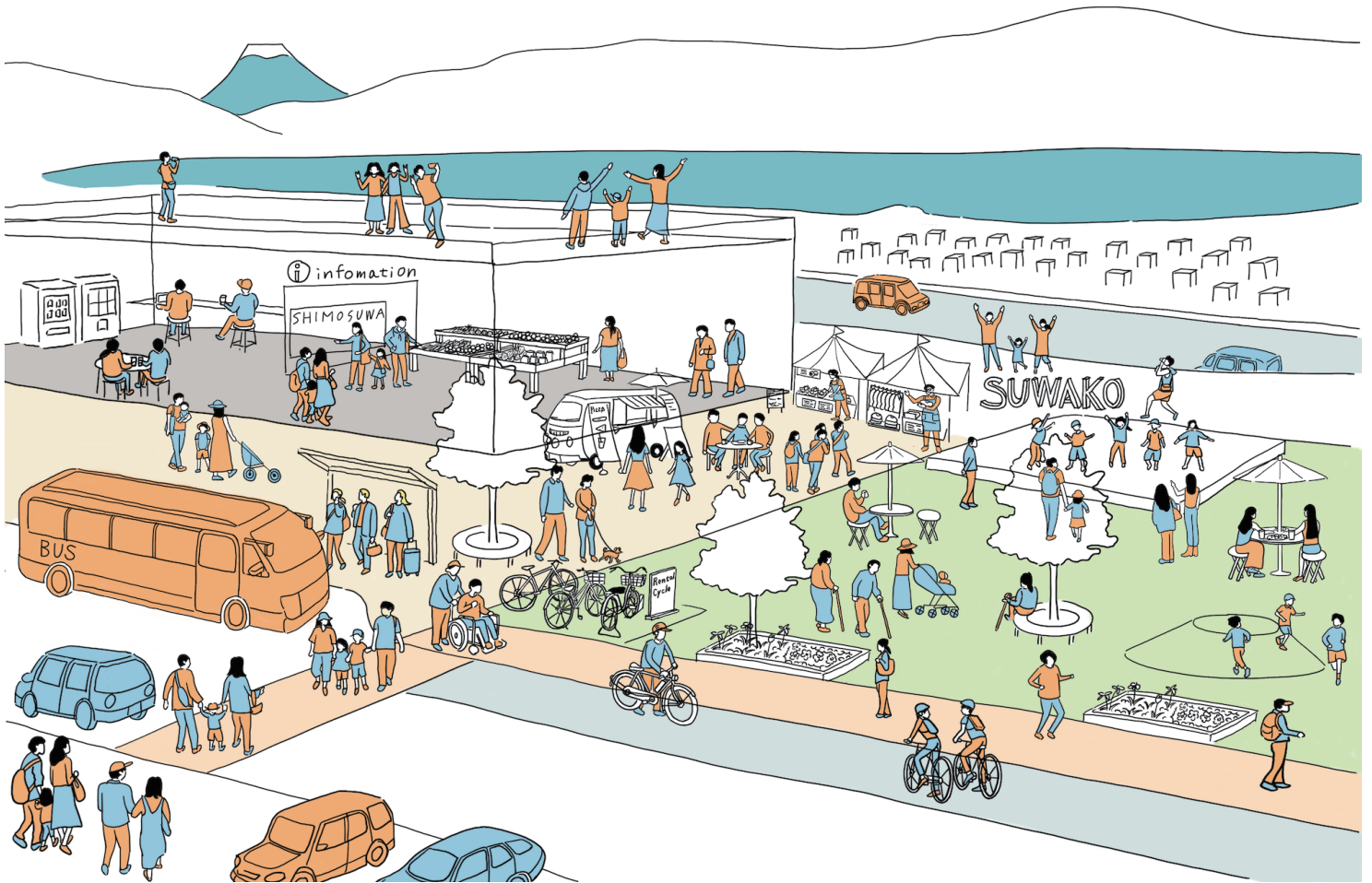


※基本理念のもとイメージしたものであり、家屋等の位置、形等は正確ではありません。

基本理念を実現するために重点となる箇所の将来像をより詳細に描き、官民で連携して取り組める方針を示すものです。

## ホシスメバ

～諏訪湖や富士山の良好な眺望を有する、来訪者と地域住民が集い、にぎわう要所～



### <概要>

「しごと創生拠点施設」として、起業・創業を支援し、地域に開かれた交流の場として機能している。閑静な住宅街に位置し、豊かな自然に囲まれた落ち着いた環境にあって、諏訪湖や富士山、町場を一望できる眺望を有するほか、多くの人々が訪れる春宮や万治の石仏にもほど近い立地にある。

今後の国道20号バイパス及びこれに接続する赤砂東山田線の整備により、諏訪エリア一帯の広域拠点として、町内外から多くの人々が訪れ、地域住民との交流を通じて、多彩なにぎわいが生まれる拠点となり得る。

### <取組方針>

良好な眺望や歴史ある緑豊かな環境を活かし、来訪者と地域住民が集い、にぎわう拠点を創出する。

#### ○官で取り組めること

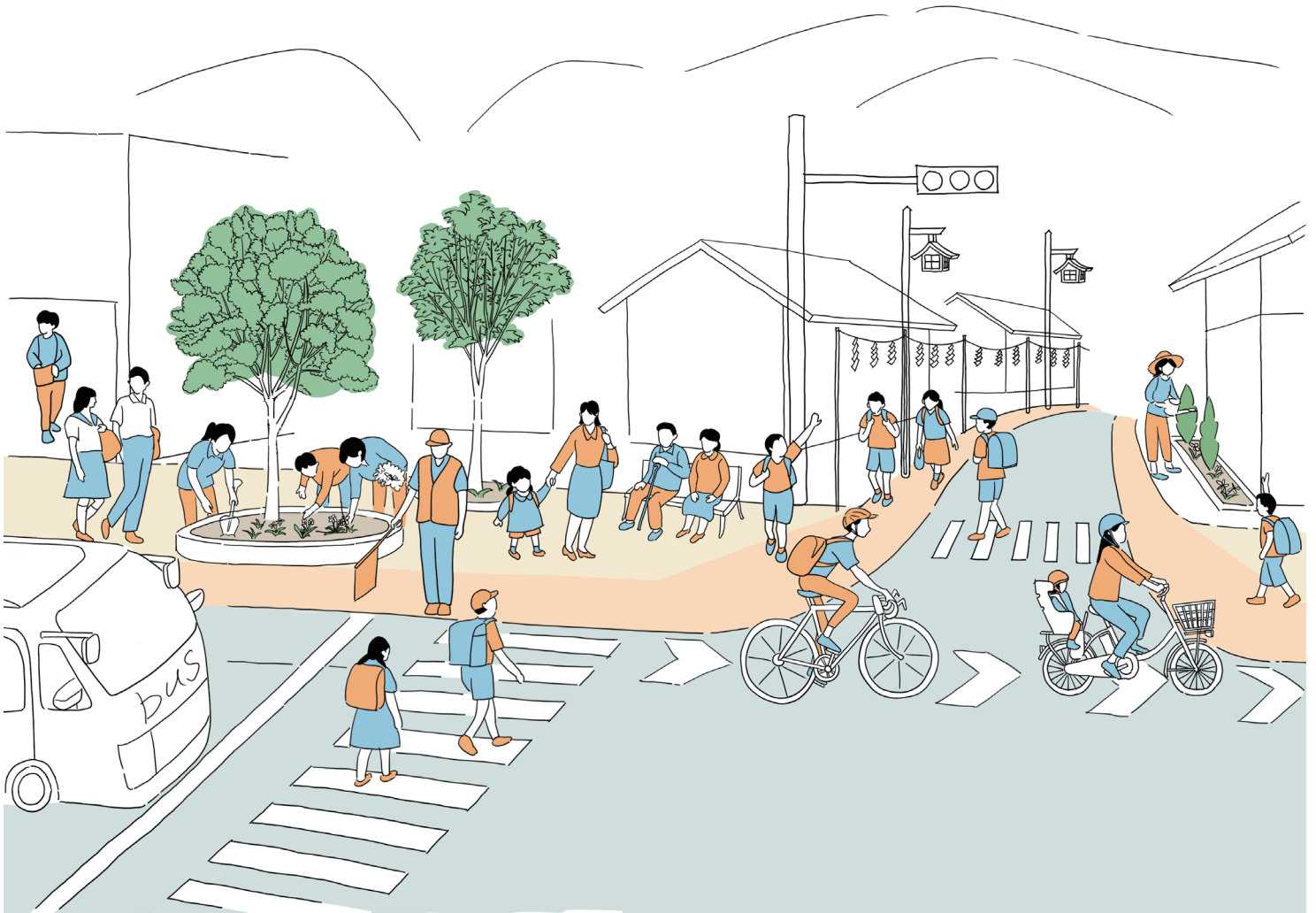
- ・諏訪湖や富士山、街並みを一望できる展望台やテラスなど、眺望を楽しめる環境の整備
- ・春宮や秋宮、諏訪湖畔に通じる公共交通の確保、快適な交通環境の整備
- ・子どもが安全・安心に遊べる広場の整備と学生や若者、高齢者など、多世代が集える交流の場づくり

#### ○民で取り組めること

- ・観光客だけでなく、地域住民も日常的に利用できる特産物の直売所や物販スペース等の運営
- ・町内や諏訪湖周辺を回遊できるレンタサイクル事業などの展開
- ・学生や地域住民が集う居場所スペースの運営
- ・カフェなど、町内外の人々が気軽に訪れ、ゆったりとした時間を過ごせる場の提供

## アクセス道路周辺

～眺望が広がるまちのエントランスロードで、多様な人々が行き交う要所～



### <概要>

アクセス道路（都市計画道路赤砂東山田線）は、国道20号バイパスとともに整備される幅員16mの道路で、町の南北を結ぶ新たな主要動線として、地区内の狭隘な道の通過交通を抑制する効果とともに、諏訪大社下社や諏訪湖など周辺一帯の新たなエントランスロードとしての役割が期待されている。

アクセス道路からの眺望や、沿道周辺の農地、神社など自然と歴史が調和する地区の特性に魅力を感じ、地域住民や町外の来訪者が、多様な移動手段で安全・安心かつ快適に往来することで、地区の活性化や多様な交流を育む道路となり得る。

### <取組方針>

安全・安心に移動できる歩行環境を確保し、まちや地区の魅力を体感できるエントランスロードを創出する。

#### ○官で取り組めること

- ・歩道の整備、自然や歴史を活かした魅力ある散策路の形成など、安全・安心で快適な歩行空間の確保
- ・小規模な広場など空き地を活用した憩いの場の整備
- ・四季折々の魅力を感じられる景観の形成
- ・アダプトシステム※等の制度に基づいた、公共スペースの清掃・美化に取り組む団体・企業等の支援

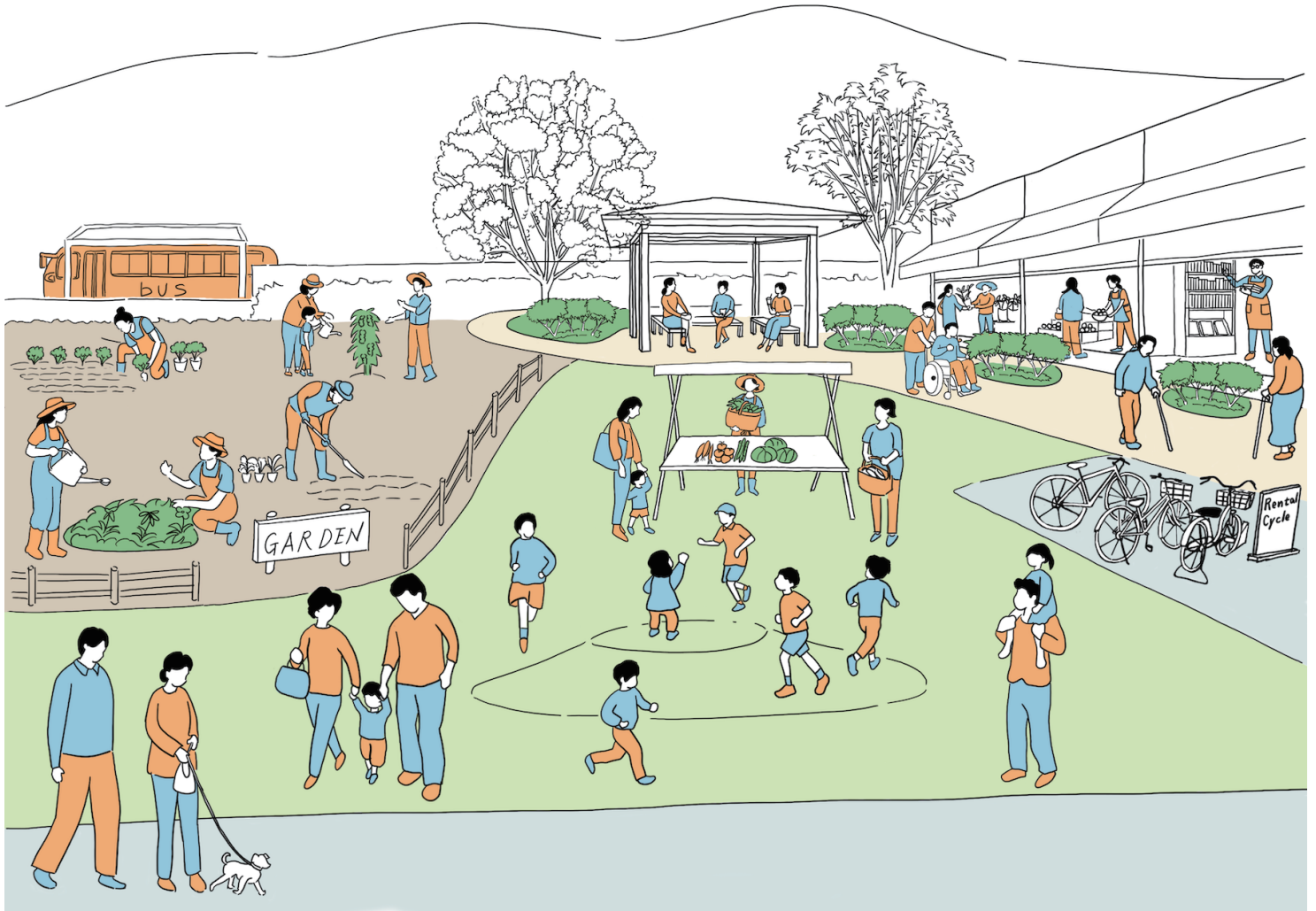
#### ○民で取り組めること

- ・街頭指導など地域の子どもを見守る取組
- ・沿道や空き地での植栽管理、公共スペースの清掃・美化等の活動

※アダプトシステム…住民と行政が互いの役割分担について協定を結び、継続的に公共スペースの美化を進める仕組み

# ニデックインスツルメンツ社宅用地

～地域の人々が集い、まちに新たな風を吹き込む「くらし・しごと・にぎわい」の要所～



## <概要>

町が取得予定の約5,360㎡の平坦な敷地。住宅や工場・事業所が密集する市街地に位置し、周辺は新たな住宅も増えつつある。整備される国道20号バイパスやアクセス道路にも近接している一方で、周辺一帯は砥川や農地など自然も豊かで閑静な環境にあるなど、利便性と環境性を併せもつ立地にある。

地域住民が気軽に立ち寄り、憩える場として、また、起業等を支援する場として、地域住民の「住む・働く・集う」を実現し、にぎわいを創出する複合的な交流拠点となり得る。

## <取組方針>

地域の人々が集い、思い思いに過ごせる「くらし・しごと・にぎわい」の新たな拠点を創出する。

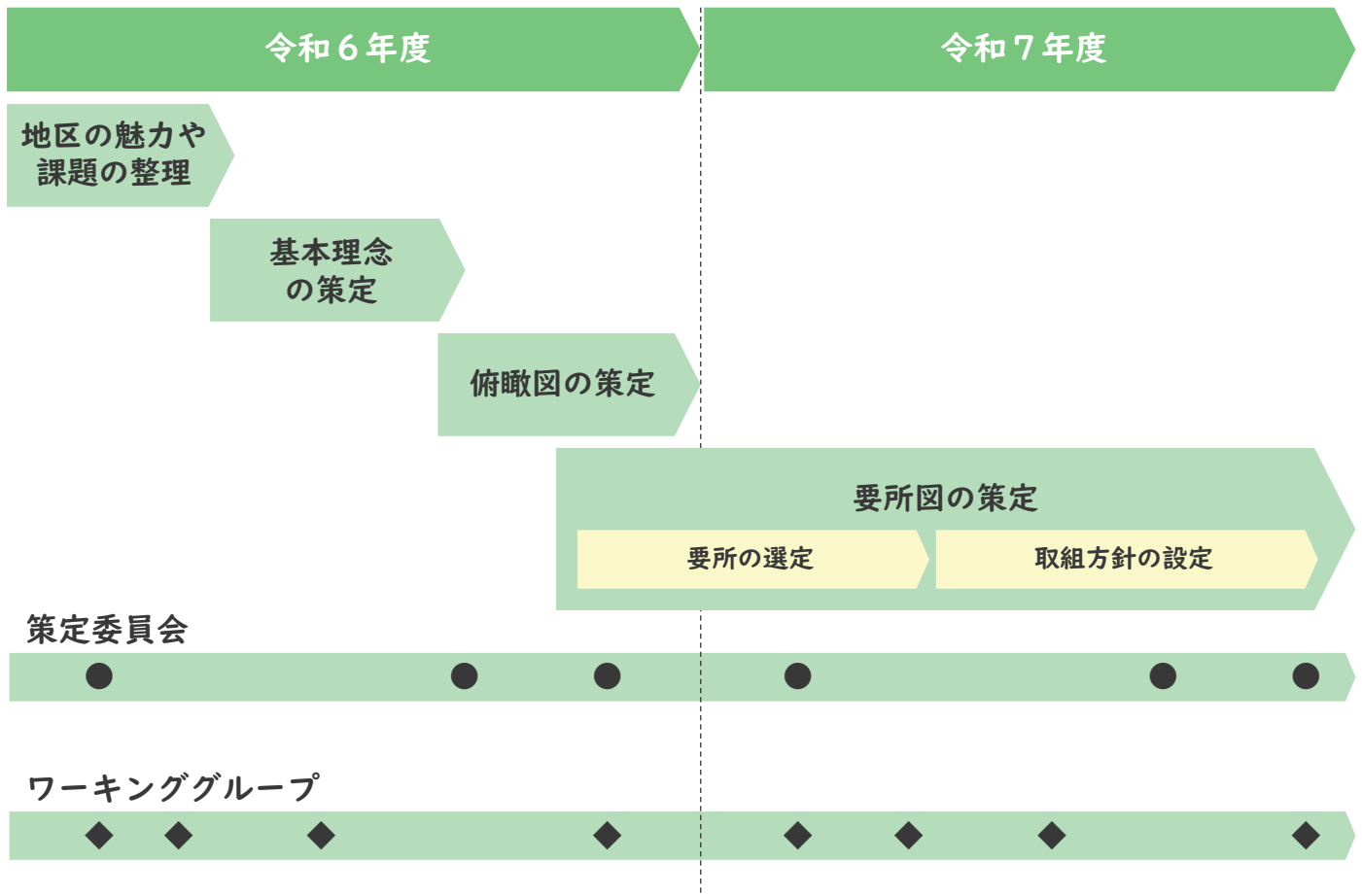
### ○官で取り組めること

- ・地域住民が気軽に集い、憩える広場や交流スペースの整備
- ・花壇や菜園など農作業にかかわることのできる環境の整備
- ・店舗スペースの確保や交流スペースの整備等を通じた起業等の支援

### ○民で取り組めること

- ・農作業スペースの管理・運営
- ・カフェ、物販、居酒屋等地域住民が集える店舗の出店・経営
- ・交流スペース等を活用した地域住民同士の交流促進
- ・農作業やガーデニングの体験、子ども向けの職業体験など、場や施設を活かした参加型イベント等の開催

## ● 策定の経過



<参考図> 美ヶ原や霧ヶ峰、八島湿原方面からの玄関口に位置する社地区



「下諏訪町グランドデザイン 社地区編」

発行 令和8年2月

発行者 下諏訪町

※ 本事業は「長野県地域発元気づくり支援金」を活用しています。